【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和6年4月8日(2024.4.8)

【国際公開番号】WO2023/210620
【出願番号】特願2023-547622(P2023-547622)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/02(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/00(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　7/023(2019.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/02　　Ｃ
Ｇ０９Ｆ　9/00　３１３
Ｂ３２Ｂ　7/023

【手続補正書】
【提出日】令和5年8月7日(2023.8.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光学フィルムであって、
前記光学フィルムは凹凸表面を有し、
前記凹凸表面は、ＩＳＯ　２５１７８－２：２０１２に規定される界面の展開面積比であるＳｄｒが０．０１０以上０．０６０以下であり、ＩＳＯ　２５１７８－２：２０１２に規定される最小自己相関長さであるＳａｌが４．０μｍ以上１２．０μｍ以下である、光学フィルム。
【請求項２】
前記凹凸表面は、ＩＳＯ　２５１７８－２：２０１２に規定され、負荷面積率２．５％の高さと負荷面積率５０％の高さとの差分を意味する極点高さであるＳｘｐが０．５０μｍ以上２．００μｍ以下である、請求項１に記載の光学フィルム。
【請求項３】
前記凹凸表面は、ＩＳＯ　２５１７８－２：２０１２に規定される算術平均高さであるＳａが０．２０μｍ以上１．００μｍ以下である、請求項１又は２に記載の光学フィルム。
【請求項４】
前記光学フィルムは、基材上に機能層を有し、前記機能層の表面が前記凹凸表面である、請求項１に記載の光学フィルム。
【請求項５】
前記機能層として防眩層を含み、前記防眩層の表面が前記凹凸表面である、請求項４に記載の光学フィルム。
【請求項６】
前記機能層として防眩層及び反射防止層を含み、前記反射防止層の表面が前記凹凸表面である、請求項４に記載の光学フィルム。
【請求項７】
前記防眩層が、バインダー樹脂及び粒子を含む、請求項５又は６に記載の光学フィルム。

【請求項８】
前記粒子として不定形無機粒子を含む、請求項７に記載の光学フィルム。
【請求項９】
前記粒子として、さらに有機粒子を含む、請求項８に記載の光学フィルム。
【請求項１０】
前記バインダー樹脂が、電離放射線硬化性樹脂組成物の硬化物を含む、請求項７に記載の光学フィルム。
【請求項１１】
ＪＩＳ　Ｋ７１３６：２０００のヘイズが２０％以上７５％以下である、請求項１又は２に記載の光学フィルム。
【請求項１２】
表示素子上に、請求項１又は２に記載の光学フィルムの前記凹凸表面側の面が前記表示素子とは反対側を向くように配置してなり、かつ前記光学フィルムを最表面に配置してなる画像表示パネル。
【請求項１３】
請求項１２に記載の画像表示パネルを含む画像表示装置。